

公益財団法人ソニー音楽財団
(S o n y M u s i c F o u n d a t i o n)

平成30年度 事業報告書
(2018年4月1日～2019年3月31日)

I. 方針

当財団の平成30年度事業は、これまでの事業を充実させるとともに、より音楽を通して子どもたちの教育につながる活動を行うべく新たな施策を展開、また中期事業計画に基づき、事業拡大のための準備を進め、一層当財団の社会的評価を高めるよう努めました。

II. 事業

公益目的事業1. 音楽、オペラ、舞踊等の普及向上事業

(1) 「Concert for KIDS～0才からのクラシック®～」 「Concert for KIDS～3才からのクラシック®～」の開催

「生まれた赤ちゃんにも生のクラシックを聴かせたい」、「ぜひ生まれた子供と一緒に聴けるコンサートに行きたい」というお客さまの声から1999年に誕生した、未就学児とその家族を対象としたクラシック・コンサートです。

出演者はピアノ、ヴァイオリン、チェロ、フルート、トランペット、トロンボーン、マリンバ、弦楽カルテット、オペラ歌手や童謡歌手など多岐に渡り、地域やホールに合わせ、さまざまな内容構成で開催しました。

また、太鼓芸能集団鼓童とコラボレーションした「Concert for KIDS～0才からの鼓童～」をより積極的に行うとともに、これまでにない客層に向けた新たなコラボレーション、会場、環境で開催しました。

【日程及び会場】2018年～2019年

5月 5日 (土祝)	[長野県]	軽井沢大賀ホール	※鼓童
5月19日 (土)	[静岡県]	富士山麓ACO CHILL CAMP	
6月23日 (土)	[神奈川県]	杜のホールはしもと	※鼓童 2公演
7月 4日 (水)	[東京都]	台東区生涯学習センター	ミレニアムホール
8月18日 (土)	[千葉県]	浦安音楽ホール	
11月25日 (日)	[新潟県]	魚沼市小出郷文化会館	
12月24日 (月祝)	[東京都]	HAKUJU HALL	※2公演
2月16日 (土)	[東京都]	秋川キララホール	
3月 2日 (土)	[神奈川県]	青葉区民文化センター	フィリアホール

(2) 「MIKIMOTO 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート」の開催

毎年東京とそれ以外の地域で複数回開催している本コンサート・シリーズは1990年よりスタートし、25年を超えて継続開催しています。コンサートによって得た収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血のための血液を運搬する献血運搬車の購入・整備資金へと充てられます。いつでも、どこでも、誰にでも必要なだけの血液が滞り無く届けられるよう、日々の運搬車の整備には細心の注意が払われていますが、現時点では十分な数の運搬車が確保出来ていない状況です。本コンサートでは、寄付活動を通じて、より献血に対する意識を高めるための広報活動の一端も担ってい

るものです。今年度は東京と大阪にて開催しました。

今年度は日本赤十字社へ5,000,000円を寄付いたしました。

第59回 大阪公演

【日程及び会場】2018年

12月19日（水）〔大阪府〕 ザ・シンフォニーホール

出演：ダニエル・ハーディング（指揮）イザベル・ファウスト（ヴァイオリン）
パリ管弦楽団

主催：ザ・シンフォニーホール

共催：公益財団法人ソニー音楽財団

第60回 東京公演

New Year Concert 2019

【日程及び会場】2019年

1月19日（土）〔東京都〕 サントリーホール

出演：小林研一郎（指揮）仲道郁代（ピアノ）東京都交響楽団

主催：公益財団法人ソニー音楽財団

共催：公益財団法人東京都交響楽団

（3）“GREAT ARTIST SERIES”の開催

当シリーズは世界的に実力第一級のアーティストによる、商業ベースに左右されることのない、芸術的価値の高い公演を提供するシリーズです。今年度実施の国際オーボエコンクール開催に伴う関連コンサートとして、コンクール入賞者及び審査委員によるジョイントコンサートを開催しました。

第12回 国際オーボエコンクール・東京

入賞者&審査委員コンサート

【日程及び会場】2018年

10月7日（日）〔東京都〕 紀尾井ホール

出演：ハンスイェルク・シェレンベルガー（指揮・オーボエ）モーリス・ブルグ、ゴードン・ハント、ドワイト・ペリー、小畑善昭、古部賢一（オーボエ）吉田將（ファゴット）コンクール入賞者、東京フィルハーモニー交響楽団 他

主催：公益財団法人ソニー音楽財団

（4）災害復興支援チャリティ・プロジェクト

2011年度から2017年度まで東日本大震災復興支援プロジェクトの柱として開催した「小・中・高校生のための『第九』チャリティ・コンサート」は毎年12月に開催、チケットを購入することによって子どもたちもチャリティに参加できるコンサートで、チケット収入の一部と公演当日の募金を被災した子どもたちの支援に役立てることを目的としています。

今年度より対象を東日本大震災に限らない災害復興支援とし、また企画内容をリニューアルし、子どもたちが演奏に参加できる施策と連動したコンサート「小・中・高校生とともに過ごす『第九』チャリティ・コンサート」を開催しました。

当コンサートの入場料収入と当日会場での募金の合計2,139,328円は、全額を災害復興支援団体に寄付しました。(寄付先:公益財団法人 音楽の力による復興センター・東北/子どものための災害時緊急・復興ファンド)

小・中・高校生とともに過ごす「第九」チャリティ・コンサート

【日程及び会場】2019年

3月10日(日) [東京都] 東京オペラシティ コンサートホール

出演:秋山和慶(指揮・おはなし) 高橋薫子(ソプラノ) 鳥木弥生(メゾ・ソプラノ)

村上敏明(テノール) 久保田真澄(バス) 「第九」スペシャル合唱団(合唱)

<新国立劇場合唱団&小・中・高校生およびその保護者> 東京フィルハーモニー交響楽団、はいだしょうこ(ナビゲーター)

主催:公益財団法人ソニー音楽財団

(5) Dream Seats / 子ども音楽新聞

Dream Seatsは、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団等の定期公演などを、小学生から高校生までの青少年とその保護者へ安価に販売しています。子ども向けに作られた公演ではなく、大人と一緒に通常の演奏会を楽しんでもらうために提供している企画で、今年度は19公演を取り扱いました。

また、演奏会に出かける日までのモチベーションを高め、興味を持続させるため「子ども音楽新聞」を発行し、音楽や演奏家、作曲家についての豆知識を案内しています。

今年度は第26刊を発刊しました。

(6) その他

豊かな感性を育むクラシック音楽への新たな入り口として、中期事業計画に基づいた新しい事業及び施策を複数計画しており、施策については平成30年度より各事業の範囲において随時展開していきます。

併せて新しい事業についての市場調査、他者との協力関係の構築等を行っています。これらは準備が整い次第、実現に向けて取り組んでいきます。

公益目的事業2. 国際的コンクール等の開催事業、芸術家の顕彰事業及び芸術家の研鑽に対する助成事業

(1) 国際オーボエコンクール

1985年から3年毎に開催してきた「国際オーボエコンクール」は、2015年の第11回は30周年という大きな節目を迎えました。

今年度は場所を軽井沢から15年ぶりに東京に遷し、9日間にわたり開催しました。

第12回 国際オーボエコンクール・東京

【日程及び会場】2018年

第1次予選 9月29日(土)・30日(日) 東京オペラシティ リサイタルホール

第2次予選 10月2日(火)・3日(水)・4日(木) 東京オペラシティ リサイタルホール

本選及び表彰式 10月6日(土) 紀尾井ホール

入賞者&審査委員コンサート 10月7日(日) 紀尾井ホール

主催：公益財団法人ソニー音楽財団

後援：外務省、文化庁、国際ダブルリード協会、日本オーボエ協会、新宿区、千代田区、日本経済新聞社、BSテレビ東京

協賛：ソニー株式会社

協力：公益財団法人東京フィルハーモニー交響楽団、日本ダブルリード株式会社、東京オペラシティ リサイタルホール

(2) 齋藤秀雄メモリアル基金賞

2002年度に創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」はチェリスト・指揮者・教育者として高名な故・齋藤秀雄(1902-1974)氏に因むものです。

2000年3月17日に齋藤秀雄氏未亡人・齋藤秀子氏が90歳で逝去され、氏の遺言公正証書第3条に「財団法人ソニー音楽芸術振興会(現・公益財団法人ソニー音楽財団)は、遺贈された財産で振興会の中に『齋藤秀雄メモリアル基金』を設け、この基金により若手チェリスト、指揮者の発掘、育成を目的とした顕彰制度を実施して下さい。」と記載がありました。

これは、その十数年前、同家の資産運用の相談を受けた当財団初代理事長・故大賀典雄が同家の資産を買取った経緯があり、そのことに因ると思われます。齋藤秀子氏の遺言執行者である中央三井信託銀行から当財団に、306,483,968円の遺贈金が寄せられました。

当財団理事会、評議員会で審議の上、齋藤秀子氏の生前の希望により、大賀が小澤征爾氏（指揮者）、堤剛氏（チェリスト）とも協議した結果、この遺贈金は「齋藤秀雄メモリアル基金」として運用することになりました。この基金の利息収入により2002年度から毎年度「齋藤秀雄メモリアル基金賞」を授与することが決定しました。

2011年度に一部規則改定し、広く業界から候補者に関するご意見を伺い、新たに任期制選考委員3名に加わっていただき選考を行い、理事会にて決定しています。当賞の内容は以下の通りです。

今年度はチェロ部門受賞者として伊藤悠貴が受賞し、また指揮部門は該当者なしとなりました。

1. 名称

「齋藤秀雄メモリアル基金賞」

2. 選考対象

音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される、若手チェリスト、指揮者。

チェリストと指揮者を各々1年に1人顕彰することを原則とする。

但し、適切な該当者がいない場合は顕彰しない。

3. 選考方法

音楽関係者からの意見等を参考に、選考委員会で、選考委員が候補者を選出し、全員で選考の上、受賞者を選定し、理事会において決定する。

選考委員会は、顕彰年の上半期に開催することを原則とする。

4. 選考委員の選定

（永久選考委員）

永久選考委員は以下の通りとする。

永久選考委員：小澤 征爾 氏（指揮者）

堤 剛 氏（チェリスト）

（任期制選考委員）

上記永久選考委員以外に任期制の選考委員を3名置く。任期制選考委員は理事会に於いて選任し、任期は3年とする。任期制選考委員に欠員が生じた場合には、理事会に於いて後任を定める。

5. 賞

- ・楯
- ・賞金 当該年毎に1人500万円（総額1,000万円）

6. 受賞者発表時期、方法

顕彰時期を考慮して、当該年毎に適切な発表時期を定める。受賞者はマスコミに公表し、当財団ホームページでも公表する。

7. 顕彰時期

当該年毎に適切な時期を定める。

8. 主 催：公益財団法人ソニー音楽財団

特別協力：公益財団法人サイトウ・キネン財団

セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会

(3) 「国際オーボエコンクール」入賞者及び奨励賞受賞者に対する支援

1985年より3年毎に開催される「国際オーボエコンクール」はこれまで国内外の多くの若手オーボエ奏者にコンクールという形で場を提供してきました。日本人最高位に贈られる「奨励賞」受賞者や本選出場を果たした演奏家に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。

今年度は、2015年第11回コンクールで入賞及び奨励賞を受賞した副島理沙によるコンサートを、東京・春・音楽祭と共催にて開催しました。

「東京・春・音楽祭—東京のオペラの森2018」

副島理沙 オーボエ・リサイタル

～第11回 国際オーボエコンクール・軽井沢 奨励賞受賞記念

【日程及び会場】2018年

4月1日（日） [東京都] 上野学園 石橋メモリアルホール

出演：副島理沙（オーボエ）※第11回入賞・奨励賞受賞者

三上 亮（ヴァイオリン）鈴木康浩（ヴィオラ）金子鈴太郎（チェロ）

江口雅子（ピアノ）大塚直哉（チェンバロ）

主催：東京・春・音楽祭実行委員会 / 公益財団法人ソニー音楽財団

(以上)